

66 明治13年5月4日 菊池長閑

第五号五月四日

梅桜既に末と成り桃梨或ハ遅桜之時に至れり然とも風冷にして障子を開き庭前を詠むへき好天氣極稀なり去月廿七日午前十時過る也否内加賀野入口菩提院より出火折節南風烈數万一紺屋丁ニ焼抜てハ不容易事と配意さるに其北隣栲棟類焼にて鎮火せり是ハ従前之如く龍吐水而已にてハ防事難かるへきに近年此地之鳶と称するもの大小あれとも西洋風ポンプとかいふもの用ゆる故烈風にも防留る事ならんと水之手さへ能けれハ至極善き器具なり只堰或ハ川辺なれハ尤宜井戸のミ之場処にてハ暫時にして井水尽るといふ是も水不利の場処にハ十分其功を奏する事なるましく思はるゝ」本月一日は那珂先生之一周忌なるに当時友人門人多分ハ在職故翌日ニ延し二日ハ日曜故会合し然し思之外不來甚淋敷かりたり」先便煙草之事申來あるニ付吟味するへき本草書ハ売払たる故

父君之書置れたる書に

淡婆姑ハ本草になし明（しん）の万曆年中偶閩人などはを吞初て崇禎の頃より盛に行はれ我朝にてハ慶長十九年始て渡り世に流行す故に伊勢流小笠原などの礼家にも淡婆姑の礼式ハなし其後水島卜也其式を定むと云ふ（新井白上）或人の話に煙草ハ慶長

十年南蛮より種を渡せり漢土エ渡れるも太抵同し頃とそ始の
ほとハ火災の恐れすとて官よりも禁せられしかと其禁終に破
れて今にてハ飲食につくものとなれり下略橋春暉
隨筆なり

右兩説十年と十九年之違ニてあれ慶長年間漢土より渡来するも
の^{トウカラス}見えたり右橋か隨筆に番椒ハ慶長十年渡れり西瓜ハ寛永年
中甘藷サツマイモハ元録頃此二品とも琉球より渡り榲桲マヤノメハ寛永頃蛮国より来
るとあり別条なけれ共最早本月限ニテ書状見合ニ付無事を告ん
か為右申入候也

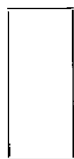
武夫殿

長閑

(封筒表)

「米国ホストン府

菊池 武夫 殿



(武夫注記)

(消印3) (消印1)

(消印2) (消印4)

(封筒裏)

「大日本岩手県陸中国盛岡

外加賀埜邑八十六番

菊池 長閑

(消印5)

(武夫注記)

「Mr. T. Kikuchi

c/o Gilbert Sitwood Esq.

14 Merchant Exchange

Boston, Mass. U. S. A.」

(消印1)

「陸中・岩手・五・三盛岡」

(消印2)

「TOKIO JAPAN 13 MAY」

(消印3)

「YOKOHAMA MAY 13 1880」

(消印4)

「REC'D. IN BOSTON MASS. JUN 8 10 A.M.」

(消印5)

「SAN FRANCISCO CAL. P. D. ALL MAY 31」